

令和7年度予算審査特別委員会(特急反訳)

【速報版】

令和7年3月19日

◎ 討論、採決

○竹田光良委員長 これより各会計予算について順次、討論、採決を行います。

まず初めに、議案第22号「令和7年度大阪府泉南市一般会計予算」について討論を行います。討論はありませんか。

○大森和夫委員 反対の討論をします。

今日の前審査特別委員会を通じまして、いろんな市民の要望とかが実現してきたこともよく分かりました。一方、代表質問、一般質問を通じて言いますと、市政運営方針に書かれているような、例えば市民の皆さんに、泉南市に住んでよかったといえるようなまちづくりを目指すとか、それから未来への投資として、教育の質の向上や子どもたちの学びのための環境整備と、こういう点で予算全体を見ますと不十分であるということで、反対いたします。

限られた財源の中ということで、もう全くそれはもうできませんというふうなことの回答があったりしています。財政が大変なときだからこそ、市民との協力や、それから、職員さんの知恵とか、市民の活発な議論の中で、協働して辛抱してもらったところは辛抱してもらったり、それから意見を聞きながら、もっといいものを、財政負担を少なくしながらでもやっていくこととか、本当に住みよいまちにして定着を増やして税収を増やしていくとか、そういう方向も考えることができると思います。

今回の予算は、やっぱり万博優先であると。ここについてはもう限られた予算というようなことはもうなく、もうどんどん出していく。

それから、りんくう優先のまちづくり、これはりんくうが発展することによって、泉南市の知名度が上がり、いろんな効用があることは、もちろん否定しませんが、やっぱり内陸部での教育施設の、老朽化した施設の改修とか、商業施設の誘致とか、買物難民とかが増えていきますので、そういう部分でいえば、りんくうが優先で、内陸部へのそういうアプローチが進んでいないんじゃないか

というふうに思います。

それと、南ルート of いろんな関係のいろんなお金とか、それから自主環境整備基金とかいうのは、これはもう昭和の時代からもうずっと変わっていない。それを現市政も変えずにずっと引き継いでやっているというのは、やっぱりこれも今、見直していくことが大事やと。

もうそういうところにもメスを入れないと、財政の健全化とか、経常収支の削減とかいうのは取り組めないというふうに思います。

そういう点もまだまだ不十分ということなので、今予算案については反対いたします。

○竹田光良委員長 ほかがございませんか。———以上で本件に対する討論を終結いたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり可決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○竹田光良委員長 起立多数であります。よって議案第22号は、原案のとおり可決されました。

続いて、議案第23号「令和7年度大阪府泉南市樽井地区財産区会計予算」から、議案第39号「令和7年度泉南市下水道事業会計予算」までの以上17件について一括して討論を行います。討論はありませんか。

○大森和夫委員 国保について反対の討論をいたします。

来年度は国保の値上げはないということで、府下統一化で、一番高いところまで来たので、低かった泉南市の保険料もずっと引き上げられてきたということと、黒字があるということで、値下げにはなりましたけれども、先ほども質問の中で明らかにしたように、所得の2割が国保料というのは、もうあまりにも高過ぎて、本当に市民の命や暮らしが守れるんかというふうな状況になっています。

そういう意味で、この高い国保料となっている国保会計については賛成するわけにはいきませんので、反対させていただきます。

○竹田光良委員長 ほかがございませんか。———以上で本17件に対する討論を終結いたします。

これよりただいま討論のありました各会計予算のうち、反対討論のありました議案から順次採決

いたします。

まず初めに、議案第34号「令和7年度大阪府泉南市国民健康保険事業特別会計予算」について採決いたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり可決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○竹田光良委員長 起立多数であります。よって議案第34号は、原案のとおり可決されました。

次に、ただいま採決いたしました1件の会計を除く議案第23号、議案第24号、議案第25号、議案第26号、議案第27号、議案第28号、議案第29号、議案第30号、議案第31号、議案第32号、議案第33号、議案第35号、議案第36号、議案第37号、議案第38号、議案第39号の以上16件の各会計予算について、これより一括して採決をいたします。

お諮りいたします。本16件については、いずれも原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○竹田光良委員長 御異議なしと認めます。よって本16件については、いずれも原案のとおり可決されました。

次に、議案第41号「令和7年度大阪府泉南市一般会計補正予算（第1号）」を議題とし、質疑を行います。

これは先ほどの一般会計からありましたので、工藤委員から行きますか。

○工藤智恵子委員 すみません、よろしくお願い致します。まず、追加の分で、13ページなのですが、上水道費の物価高騰対応支援事業について伺いたいと思います。この水道減免対象者と、減免期間が6か月と伺っているんですが、いつから始まる予定かを教えていただければと思います。

その次に、14。

○竹田光良委員長 工藤委員、ちょっと待ってください。ごめんなさいね。関係のない職員については退出していただいて結構です。ちょっと用意がありますので、工藤委員、この場で暫時休憩いたします。

入れ替えをお願いします。失礼いたしました。

午前11時02分 休憩

午前11時04分 再開

○竹田光良委員長 休憩前に引き続き、会議を続行いたします。失礼いたしました。

工藤委員、初めからで結構ですので、質疑を続行してください。

○工藤智恵子委員 よろしくお願ひいたします。すみません。議案書の追加の分でお伺ひいたします。

13ページの上水道費の物価高騰対応支援事業についてお伺ひしたいと思います。水道の減免対象者を教えていただければと思います。減免期間は6か月と伺っているんですが、いつから始まるかを教えてください。

14ページの小学校の給食提供事業なんですけれども、これは御説明いただいていたとおり、ももとの値上がり500円分と、今回物価高騰対策として500円を加えるということだったんですけれども、その事業内容について教えてください。

○上柴教育総務課参事 そうしましたら、私のほうから、議案書の14ページ、それから、15ページにあります、小中学校の物価高騰対応支援事業の学校給食費負担軽減補助金について御説明させていただきます。

この事業につきましては、物価高騰の影響を受けている子育て世帯に対して、学校給食費の保護者負担を軽減するために、泉南市立小学校に在籍する児童の保護者及び泉南市立中学校に在籍する生徒の保護者に対して、学校給食費に対しての支援として実施するものでございます。

支援内容といたしましては、令和7年4月から令和8年3月までの1年間に限り、毎月の学校給食費について、1人当たり500円の値上げ分の補助を継続して実施するとともに、いまだ収束しない物価高騰に対する支援として、学校給食費の食材料費に対して、1人当たり月額500円の支援を実施するものでございます。

以上でございます。

○鶴戸下水道課長 それでは、私のほうから、上水道の減免について御答弁させていただきます。

対象者ですけれども、対象者は一般家庭及び市内事業者となっております。開始時期につきましては、企業団の料金システムの更新、改修が必要となってきますので、それが終わってからという

ことになるんですけども、今のところ8月、また、9月をめどに開始をしたいというところでありませぬ。

以上です。

○工藤智恵子委員 ありがとうございます。水道のほうは理解させていただきました。

あと、給食のほうなんですけれども、食物アレルギーのためにお弁当を持ってきている御家庭ですとか、あと、不登校で学校給食を食べていない児童に関しての補助とか支援の実施は考えておられますでしょうか。

○上柴教育総務課参事 御答弁させていただきます。食物アレルギーを有する児童生徒や、不登校の児童生徒等がいらっしゃる御家庭に対しましては、令和6年度、今年度においてなんですけれども、令和7年1月分から3月分までの学校給食費の無償化の実施に伴いまして、食物アレルギー補助金という形で、小中学校で合わせて80件の御家庭に対しまして、合計58万668円の補助金を支給する予定でございます。

以上でございます。

○竹田光良委員長 ほかがございせんか。

○大森和夫委員 水道料金の基本料金、これが一般家庭とか企業とか、幾らになるのか、幾らなのか教えてください。

それと、学校給食の分は、市長のほうからも、国の動向を見ながら予算が入れば無償化の検討もというような、たしか答弁があったと思うんですけども、違っていたらまた言ってくださいね。そのように僕は理解したんですけども、近隣の学校給食の無償化状況というのは何かつかんでおられますかね。

岬町が来年度から小中、田尻町はずっと小中無償化、泉佐野市が年度ごとですけれども、連続して無償化していると。熊取町が今回、中学校かな、小学校かな、どちらかが無償化になったというふうにお聞きしているんですけども、近隣でも全国でもそういう無償化の状況というのは進んでいるのか、そういう情報をつかんでいけばちょっと教えていただけますか。お願いいたします。

○上柴教育総務課参事 近隣での無償化について御答弁させていただきます。

近隣で高石以南についてなんですけれども、今おっしゃっていただきましたとおり、小学校のほうで無償化しているのが3市町ございまして、また、中学校のほうで無償化しているところが5市町ございまして。具体的には、小学校につきましては泉佐野市、それから田尻町、それから岬町。それから、中学校につきましては高石市、それから泉佐野市と熊取町、それから田尻町、岬町と、以上のようになっております。

○鶴戸下水道課長 水道の基本料金ですけれども、一般家庭につきましては大体13ミリから20ミリの口径をつけていますので、826円になります。あと、事業所につきましては、メーターの口径によって基本料金も変わってきますので、25ミリであれば2,350円、30ミリであれば3,550円というふうに、ちょっと事業所によって金額というのは変わってきます。

以上です。

○大森和夫委員 水道料金ね。水道料金ですけれども、基本料金が一般家庭で言えば826円と、半額ということで413円と、決して金額が多いというわけではありませんけれども、大変これは喜ばれるというのか、やはり基本料金だけで過ごしている御家庭にとっては助かるという話を聞いていますので、もっともっと引き上げてもらえればいいんですけどもね。負担が減るようにしてもらったらいいいんですけども、大変いいことだというふうに思っています。

あと、言い出したら幾つもあるんですけども、コロナ禍の下で、物価高騰対策ができたような、ふだんもやっておられるような介護施設等への燃料費の支援とかいうのも、これから取り組んでいただきたいというふうに思います。

特別答弁はなくてもいいです。

○竹田光良委員長 ほか質疑はございせんか。

○井上 実委員 すみません。大きく2点、ちょっとお聞かせいただきたいと申します。まず1点目に、低所得者支援給付金給付事業なんですけれども、こちらの事業に関しては、コロナ禍から定期的な実施をされている事業になってくるかと思っております。その都度課題となってくることが、いかにスピーディーに市民さんに対して給付を行っていくかと

いうところになるろうかと思えます。

やはり給付のタイミングというところが、各市町によってスピード感というものが、若干違いがあるかと思えます。必ずしも早ければよいというものでもないと思えますが、やはり市民さんからすると、先行して行われている自治体の事例を見て、泉南市はまだなのかというふうな御意見をいただくことも多々あります。

そこで、泉南市は給付のタイミングについて、先行して給付されている自治体とのその差というところが、どういったところに理由があるのか、これも改めて御説明いただきたいなと思えます。

そしてもう1点、市内のトラック運送事業者に対する支援なんですけれども、こちらのほうも定期的に行っていただいているなというところだと思うんですが、改めて確認をさせていただきたいんですが、1台につき5,000円給付をすると、支援をするということなんです、こちらの支援に関してはプッシュ型でやられるのか、もしくは申請によって支援をされるのか、教えていただきたいと思えます。

以上です。

○高野産業振興課長 では、私のほうから、トラックの運送事業者の支援事業について御説明をさせていただきます。

この事業につきましては、令和4年度にも一度実施させていただいております。やり方としてはそのときと一緒なんですけれども、一般社団法人大阪府トラック協会泉州支部のほうに業務の委託をかけるという形になっております。そちらのほうで、泉南市内で登録されている事業者、そこの所有するトラックについて、申請の受付、給付も一括して実施していただく。

予定なんですけれども、支援金5,000円で、前回の令和4年度の実績を基に400台を今回見込でおるというところでございます。

以上です。

○竜田福祉保険部次長兼生活福祉課長 では、私のほうから、給付金について、先行団体との差というところでお答えさせていただきます。

これについては大きく2つ要因があるのかなと思えます。

1つは、国のほうから給付金の概要が発表されたときに、先んじて動き出すというところ、先行団体があります。そうすると、最後、詳細が決まったときに、前の給付金と若干対象者が変わったりというところが発生する可能性もあります。その場合には、国のほうからは、そういった前と違うルールの部分については、推奨メニューのほうで対処してもらったらいいいというところが通知では来ているんですけども、泉南市、多くの団体はやはりしっかりと、その辺、ルールといいますか規則を見てから対処に入っているというところで1つ差は出てくるのかなと。

2つ目なんですけれども、非課税世帯、対象者を選定するときに、うちは当然税情報のほうから対象者を選定するとなるんですけども、税情報を担っている会社にシステム改修をお願いするんですけども、今回も交渉はしたんですけども、その会社の方針として、近畿であったり中部であったりブロックごとに対処するのではなくて、その会社としては本社一括でシステムを変えてから、各所と契約している自治体にそのシステムを配給するという方式を取っているということで、そのあたり、入っている業者さんの対応が、違いが出てくるものというふうに思っております。

以上です。

○井上 実委員 ありがとうございます。トラックのほうに関しましては、400台見込みの1台5,000円ということで、20万円ということ、残りの20万円が委託料になるということで認識をさせていただきました。

低所得者支援給付事業なんですけれども、こちらに関しては、泉南市のほうでは確実に給付をするために、先行して取り組まずに、きちんとした情報があった上で確実に取り組んでいただいているので、このタイミングになっているというところと、あと、システム改修が委託事業者さんの都合によりこのタイミングになってくるんだというところでの御答弁でありました。

泉南市の中では最善のスピードでやっていたという事は、この御説明を聞かせていただく限り、承知するところではあるんですけども

ども、市民の方にとっては、この説明を聞くまでは他市と比べてしまうというところがどうしても出てきてしまいます。そうすると、市の職員さんの仕事が遅いのかなというふうにも取られてしまうことがあると思います。

今回も、委託事業者さんにも、もちろん打診していただいていることだとは思いますが、その点はまた改めて委託事業者さんにも御相談していただいて、必ずしも早ければいいというわけではありませんが、また少し御検討はいただきたいかなというふうに思います。

以上です。

○竹田光良委員長 答弁いいですか。

○山本市長 この間、私のほうにも、市民さんからそういった声があったのも事実です。当然のことながら、うちの職員はそういったことを百も承知で、今できる限りの最善のスピードでやっておりますので、今お話のあったところというところが1つの障壁というところですよ。御指摘のとおり、2点が障壁です。

だから、前者のほうを要は前もってやっていたとした場合には、急な情報が、前回と違うというふうになったときのいわゆる労力というところで、かなり負荷がかかってしまうところもありますので、そのときに応じて、逆に国のほうに問合せをして、前回、例えば今までの事例とはあまり変化がないから先に動けるようなものであれば、どんどん先んじてやっていくという努力は引き続きやってまいりたいというふうに思いますし、システムに関しましては、なかなか泉南市単独で言ったからといって、すぐに変えてもらえるかどうかというふうに言われますと、それはなかなか難しい可能性はありますが、一度そこは担当のほうから話を私も伺って、市民さんからそういうこともあるというのは聞いていますので、可能な限りでスピード感を持ってやっていきたいと思っておりますので、またそういった問合せが市民からあったときには、ぜひとも御協力、そういった説明の御協力をいただければ幸いです。

○竹田光良委員長 ほかがございませんか。――

以上で本件に対する質疑を終結いたします。

これより討論を行います。討論はありませんか。

――討論なしと認めます。

以上で本件に対する討論を終結いたします。

これより議案第41号を採決いたします。

お諮りいたします。本件は、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○竹田光良委員長 御異議なしと認めます。よって議案第41号は、原案のとおり可決されました。

以上で本特別委員会に付託をされました令和7年度泉南市各会計予算18件及び一般会計補正予算1件についての審査を終結いたします。

連日におたまり慎重なる御審査をいただきましてありがとうございました。

なお、本会議における委員長の報告につきましては、私に一任をいただきますようお願いいたします。

これもちまして、令和7年度予算審査特別委員会を閉会いたします。御苦勞さまでございました。

午前11時22分 閉会

(了)

委員長署名

令和7年度予算審査特別委員会委員長

竹田光良